

慢性腎臓病（CKD）の定義

以下の①、②のいずれか、または両方が「3ヶ月以上」続いている状態をCKDと診断します。

検査項目	判定の目安・基準	状態の解説
①腎臓の障害を示唆する所見がある (特に尿タンパク)	尿検査で **「尿タンパク陽性（1+以上）」** または 微量アルブミン尿がある	腎臓のフィルター（糸球体）が傷つき、本来は体に回収されるべきタンパク質が尿に漏れ出てしまっている状態です。
②腎機能が低下している	血液検査に基づく eGFR（推算糸球体濾過量）が「60未満」	腎臓の老廃物をろ過する能力が、健康な成人の60%未満に落ちてしまっている状態です。

内科・循環器内科・リハビリテーション科

森 医 院

<http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

森医院通信

やまいのはなし

2026年7月号

Pickup!

腎臓の機能を調べる際、最も重要視される指標が eGFR（推算糸球体ろ過量）です。

eGFR は、英語の estimated Glomerular Filtration Rate の略です。

●糸球体（しきゅうたい）：腎臓の中にある、血液をろ過する細い血管の「フィルター」のこと。

●ろ過量：1分間にどれくらいの血液をきれいにできるかという能力。

●推算（estimated）：実際に精密検査をするのは大変なので、血液検査（クレアチニン値）、年齢、性別の3つから計算で導き出します。

数値の見方と目安

eGFRの数値は、「100%のうち現在何%機能しているか」というイメージです。

eGFRの数値	腎機能の状態	目安の解釈
90以上	正常	腎臓はしっかり働いています。
60 ~ 89	軽度低下	少し機能が落ちていますが、まだ安心な段階です。
30 ~ 59	中等度低下	**CKD(慢性腎臓病)**の疑いが強まり、生活改善が必要です。
15 ~ 29	高度低下	腎機能がかなり落ちており、専門医の治療が不可欠です。
15未満	末期腎不全	透析療法などの準備を検討する段階です。